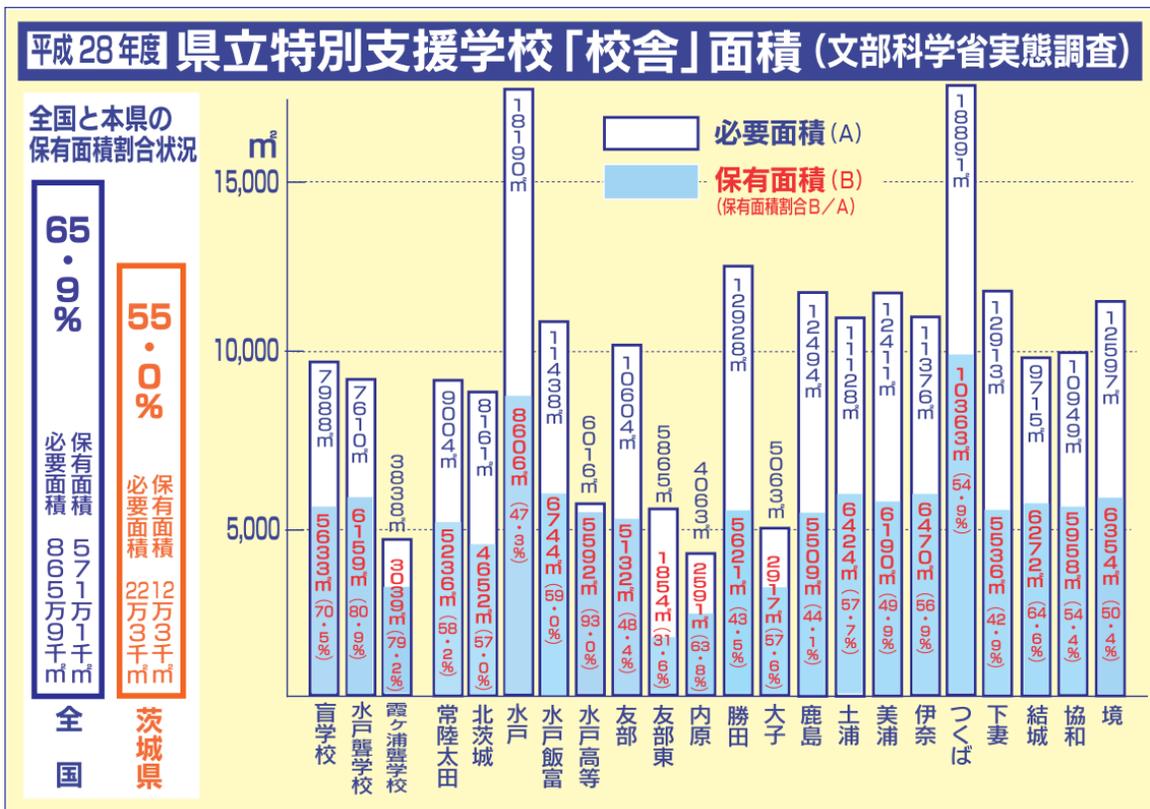


こんにちは 山中たい子です

残土条例の問題を知事にたずねる山中議員 (9月27日)



特別支援学校の増設を繰り返し要求



日本共産党

税金の使い方が大きく問われた9月県議会でもした。日本共産党は、上野たかし議員が一般質問で、八ッ場ダム工事を批判。予算特別委員会では、山中たい子議員が障がいをもつ子どもたちの特別支援教育予算が全国46位という実態を示し、改善を要求しました。

予算特別委で質問



山中議員は「教室不足の解消にどう取り組むのか」と質問。小野寺教育長は「敷地に余裕がないため、増築が困難な学校が多い。そのため、境町と常陸太田市に学校を新設したが、今後も石岡特別支援学校を新設するとともに、美

浦と伊奈で増築を進めていく」と答えました。これに対し、山中議員は「石岡に新設しても、つくば特別支援は過密解消されない。つくばの増設が必要だ」と重ねて要求しました。

特別支援教育予算 全国最低クラス

さらに、山中議員は、本県の1人あたりの特別支援教育予算が全国46位であることを明らかにしました。全国平均との差は140万円にもなります。知事は「教育費の順位が低いことは事実」とし、「今後も、校舎の新設や増築のほか、スクールの増設、臨床心理士の派遣、教員採用を増やすなど努力していきたい」と答えました。

このほか、山中議員は県土砂等の埋立条例の改定を提案。県外からの残土埋立によって周辺環境に悪影響を及ぼしている県南地域の実態を示し、埋立て許可面積の引き下げなど規制強化を求めました。また、国民健康保険税の値下げを求めるとともに、未納者への厳しい差押えをやめるよう主張しました。

やまなか日記

豊洲新市場 や富山の政務 活動費、閣僚の白紙領収書

も、日本共産党が行政の不正と議会をチエックする監視役を大いに果たして注目されています。▼つくばでは、昨年の住民投票運動に勝利した結果、市政転換の大きなチャンスを迎えています。市民と市議会野党の力を合わせた共同の運動が、これまでにない新しい状況をつくり出しました。

▼日本共産党つくば市議団は、いち早く運動公園計画を知らせ、独自に署名運動を展開。共同を広げて市民運動をともにすすめました。市民が動かす新しい市政へ、市民とともに市政を変える、確かな力です。▼新潟県では、知事選で市民と野党の統一候補が勝利し、大きな希望を示しました。▼原発再稼働やめよ☆安保法制／☆憲法改悪反対☆悪政とキッパリ対決し、国や県にハッキリものいう日本共産党が伸びてこそ、暮らしも平和も守ることができます。さらに力を合わせましょう。(山中)



茨城 全国最多の地震発生

上野議員が本会議で一般質問

上野たかし議員は9月12日の一般質問で、東海第2原発を抱える茨城県でマグニチュード5.0以上の地震が東日本大震災以降に頻発している問題を指摘し、再稼働中止を知事に求めました。



稼働中止を知事に求めました。

東海第2原発から30キロ圏内は約100万人が居住する人口密集地です。上野議員は「全国には2千もの活断層があり、いつどこで大地震が起きてもおかしくない」と述べたうえで、東日本大震災以降、全国でマグニチュード5.0以上の地震が起きたのは638回で、その4分の1に当たる153回が茨城県で発生し、地震活動が活発化していると指摘しました。

知事は「原発の地震対策は重要課題」との認識を示しながらも、再稼働については「国の方針が示された段階で、県の原子力関係機関の検証・審議を踏まえ、県議会、地元自治体と協議して県の方針を決める」と従来の答弁をくり返しました。

原発再稼働なんてとんでもない!



ハツ場ダムから撤退すべき

江尻議員が本会議で最終討論

江尻かな議員は9月30日の議会最終日に、採決に先立って討論にたちました。

ハツ場ダム事業費の増額に同意する議案について▽当初計画の2.5倍の5,320億円に膨れ上がる▽県負担金も42億円増額され、311億円に達する一などと指摘。

「再度の工期延長や事業費増額も予想されるなか、国に対して『コスト縮減』や『工期短縮』の知事意見を付すことにどれだけの意味があるのか」と批判しました。江尻議員は利水、治水の両面で必要のないハツ場ダム建設からの撤退を要求し、議案に反対を表明しました。

また、日本共産党が提案した「核燃料サイクルの断念を求める意見書」、「社会保障給付費の削減に反対する意見書」、「政府による沖縄への強権と、無法に抗議する意見書」の可決を求めました。

さらに、県民から出された「TPP協定を批准しないことを求める請願」、「所得税法第56条の廃止を求める請願」、「ハツ場ダムの事業費増額に不同意を求める請願」の採択を主張しました。採決の結果、意見書も請願も他に賛同する議員がなく否決されました。



国保税値下げを

山中議員が予算特別委で質問

山中たい子議員は9月27日の県議会予算特別委員会で、市町村や茨城租税債権管理機構が国保税の未納者に厳しい差し押さえや取り立てを強行している実態を明らかにしました。

「高すぎて払いきれない!」

茨城県の税の収納率は住民税92.6%、固定資産税92.5%ですが、国保税は68.4%と、「高すぎて払い切れない」という状況が浮き彫りになっています。

山中議員は、国保税の引き下げを要求したうえで、給与や年金については、払うべき所得税や住民税、社会保険料に加え、最低限の生活費として1人10万円と、生計を同じくする扶養家族1人につき4万5千円を加算した額については、差し押えが禁止されていると強調。

年金や給料の違法な差押えやめよ

租税債権管理機構から給与差押え通告を受けた男性は、当初、手取り19万円のうち14万円の納付を求められました。山中議員は「これでは手元に残るのは5万円であり、法令違反にあたる。命を守るべき国保が、生活苦しに追い打ちをかけてはならない」と指摘しました。

知事は、「具体的事例は承知していない。法違反というのであれば、(当事者が)主張していただきたい。管理機構の法律違反というのは想像しがたい」などと答えました。

どうなってる?

茨城県議会政務活動費2015年度収支報告

会派に対して、所属議員1人当たり月額30万円が交付されます。

政務活動費から支出した領収書はすべて、議長に提出することになっています。領収書は情報公開により、閲覧することができます。県議会事務局か各会派にお問い合わせください。

会派名	人数	交付額(円)	支出額(円)	返還額(円)
いばらき自民党	45	160,800,000	144,467,524	16,332,476
自民県政クラブ	5	18,000,000	18,005,423	0
民進党茨城県議会議員団	5	18,000,000	16,622,251	1,377,749
茨城県議会公明党議員会	4	14,400,000	14,147,954	252,046
日本共産党茨城県議会議員団	3	10,800,000	10,648,165	151,835
茨城の元気な明日を創る会	1	3,600,000	3,600,082	0

▼日本共産党茨城県議団 2015年度支出内訳

県議団ニュース等発行費	5,543,155円
事務局員人件費(1名分)	2,459,647円
交通費(ガソリン・高速代)	853,924円
資料購入・資料作成費	772,246円
事務費(電話代・プリンターリース)	560,401円
視察・研修費	219,500円
ホームページ作成・管理費	208,332円
要請陳情等活動費	19,560円
会費(自治研、ハツ場議員の会)	11,400円
合計	10,648,165